

科研費申請のシーズンを迎えて

研究・産学連携推進センター長
小川 毅彦

本年4月より、研究・産学連携推進センター長を拝命しました小川毅彦です。何卒よろしくお願い申し上げます。

7月16日から科研費公募が始まりました。大学教員の研究活動の源となる研究費であり、学内の多くの教員の方々がその恩恵にあずかっていると思います。

どうしたら採択される研究申請書を書けるようになるのか。私も若い頃に、そして経験を積んだ後も悩み続けてきました。論文を書くのは比較的楽しいのですが、研究費の申請書はとても苦痛です。随分以前のことですが、研究費獲得に長けた知り合いの外国人研究者が、雑談の中でその秘密を教えてくれたことがあります。何人かの友人(同僚の研究者、以前のメンター、等)に原稿を送ってアドバイスをもらうのだそうです。ただし、締め切りの直前では駄目だそうです。直前ではろくに見てくれない。締め切り1ヶ月くらい前がベストタイミングだと言っていました。大した秘密ではないな、と思いましたが、それしかないのだとも思いました。本学URAに聞いてみましたところ、やはり採択される申請書は同じ教室の先輩など複数の教員の目が入っていることが多いとのことでした。

閉塞感に満ちた時代です。こんな時は、「若さ」と「海外」がキーワードになると思います。初めて申請書を書く若い教員の皆さんは、怖気づくことなく自信をもって、自身のアイデアをアピールしてください。海外共同研究などの機会があるなら、それもアピールしてください。きっとお疲れの審査員の目に留まることでしょう。皆さんの健闘を祈っています。

<科研費採択率向上に向けてのお願い>

- ・ 申請書作成開始はお早めに！URA 部門より科研費申請に関する解説動画を配信しています。スキマ時間にぜひご視聴ください。
 - ◆ 科研費研究計画調書～ストーリーで記載～
 - ◆ 書き方の基本～ここだけは押さえよう～
- ・ https://www.yokohama-cu.ac.jp/res-portal/ura_kakenhiseminar.html
- ・ 審査委員が必ずしも同分野の専門家とは限りません。研究の新規性や将来性を強調しつつも、理解しやすい表現を心掛けましょう！
- ・ 経験豊富な教員に必ず申請書をチェックしてもらいましょう！第三者の視点が大切です。
- ・ 採択経験者は、グループ指導や研究カンファレンスにて改善ノウハウを共有しましょう！
 - ※ ベテラン教員は、若手の申請書作成指導と後進の育成に注力ください。
- ・ 科研費審査委員は researchmap で研究業績や略歴を参照します。申請書作成と併せて、必ず researchmap を更新しましょう！